

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰ひとり取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。

SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

持続可能な社会の実現にむけて

私たちができること・すべきこと

株式会社 合通トラスコ

代表取締役 社長執行役員

渡邊 泰輔

私たち合通トラスコは、社会インフラである物流の担い手として歩んでまいりました。

物流は、日常生活や社会活動に必要なさまざまな品物を、皆様のお手元にお届けする活動です。

この活動は、現時点ではまだまだ労働集約型であり、毎日、実に多くの人々がトラック・フォークリフトなどによる作業や事務オペレーション、マネージメントに携わっています。

これまでも、経営理念の

「わたくしたちは、物流業を基幹として
お客様と社会の繁栄に貢献し、
社員の幸福と会社の発展につとめます。」

の精神に基づき、お客様や社会の皆様、

- ・ 利便性が高く、環境負荷の低い物流サービスを如何に提供できるのか？
- ・ 交通の安全性を高め、地域の皆様の安心安全を如何に確保するのか？
- ・ ご協力をいただいているパートナー企業の皆様や社員が、安心して力を発揮できる環境を如何に整えるか？

これらを経営の中心とし、事業活動をしてまいりました。

しかしながら、私たちが活動をすればするほど、CO₂は排出され、交通や作業の危険度も増します。

だからこそ、環境負荷の低減、交通や作業の安全活動に取り組んでまいりました。

私たち合通トラスコは、「SDGs（エスディージーズ）～Sustainable Development Goals～：持続可能な開発目標」の国際的な枠組みの主旨に賛同し、これまでの活動に新たな意義を組み入れます。

あわせて、これまで以上に地域社会の声をお聞かせいただくために、周辺の自治体とも連携し、官民一体の活動も積極的に推進します。

これらの活動を通じて、持続可能な社会の実現に貢献できるよう、企業努力を重ねてまいります。